

# 市議会だより さつて



第4回議会報告会を開催！



▲（皆さんと活発な意見交換をしました。）

## 12月定例会のおもなことから

- ・ 令和元年12月定例会議案……………2～4ページ
- ・ 各常任委員会での審査……………5～7ページ
- ・ 市政に対する一般質問……………8～15ページ
- ・ 議決結果の一覧、編集後記……………16ページ

No.93  
2020年  
2月

## 令和元年 12月定例会

令和元年12月定例会は11月29日から12月19日までの21日間の会期で開かれました。市長提出議案等は条例案10件、補正予算8件、指定管理者指定1件、人事案件1件が提出されました。審議の結果、市長提出議案は原案のとおり可決・同意となりました。

一般質問は13人の議員が市政を質しました。

〈追加議案〉議員の報酬及び費用弁償や、市長等、職員との給与に関する条例の一部改正と一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正(議案第82号〜第85号)及び令和元年度幸手市一般会計補正予算等(第86号〜第88号)を可決。

令和元年の人事院勧告を踏まえ、議会最終日の追加議案として条例等が提出され、即日での質疑・討論・採決となりました。

### 〈改正の内容〉

- ◆議員の期末手当
- ◆市長、副市長、教育長の期末手当
  - ・現行の支給割合から0.05か月分引き上げ
- ◆職員
  - ・給与月額を200円〜2,000円までの間で引き上げ
  - ・勤勉手当を現行から0.05か月分引き上げ
- ◆一般職の任期付職員(保育士・管理栄養士等)
  - ・各号給(級)給料月額を800円〜1,700円引き上げ

## 指定管理者の 指定を可決!

- ・幸手市立図書館
- ・幸手市立図書館香日向分館

指定管理者:

株式会社図書館流通センター

指定の期間: 令和2年4月1日から

令和7年3月31日まで

### 幸手市森林環境譲与税基金 条例を制定(議案第69号)

温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から環境譲与税が創設されました。これに伴い、国から譲与される森林環境譲与税を財源とする幸手市森林環境譲与税基金を設置することになりました。基金は将来、公共建築物の木造化や教育施設、子育て支援施設において木造の机・椅子・書棚・遊具等の整備などに使われます。



今年も  
よろしく  
お願い  
いたします



議長

宮 杉 勝 男

副議長

小 林 啓 子

議員(議席順)

四 本 奈 緒 美  
坂 本 達 夫  
海 老 沼 隆 夫  
小 林 英 雄  
枝 久 保 喜 八 郎  
本 田 諤 子  
小 河 原 浩 和  
松 田 雅 夫  
木 沼 村 治  
藤 沼 治  
青 木 章  
武 藤 泰 二  
大 平 泰 二





幸手市議会議長  
宮杉 勝男

市民の皆様におかれましては、幸多き新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は市議会に対し格別のご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

市議会では、執行機関へのチエック機能を的確に果たしつつ、市政の諸課題に対して、積極的に政策提言等を行い、本年も公明正大に市政の一翼を担ってまいれる所存でございますので、今後とも議会運営に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のみますのご健勝とご多幸を、ご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



幸手市長  
木村 純夫

あけましておめでとございます

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。昨年10月に第10代幸手市長に就任し、皆様とともに新しい年を迎えることができ、心から感謝を申し上げます。

さて、本市においては、「第6次幸手市総合振興計画」を策定しました。この計画に基づき、さらなる発展が出来るよう幸手市政の全事業を総点検し、市民の皆様には幸手市の将来に夢と希望を持っていただけるよう、中長期的な視点に立った未来志向の街づくりを進めてまいります。

結びに、市民の皆様のみますのご健勝とご多幸を心から祈り申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 12月定例会 本会議案質疑内容

令和元年度幸手市一般会  
計補正予算(第5号)  
(議案第75号)

### 質疑

生活保護扶助費の減額理由について伺います。年度途中での1億2270万2千円減額をなぜこの時期にしなければいけないのか、特に一般財源での負担分の4分の1である、3067万2千円は大きい減額です。その根拠について伺います。それから、受給世帯数、人数も伺います。

### 答弁

令和元年度当初予算における生活保護扶助費の予算計上においては、生活保護受給者を470世帯、583人と見込み、10億7030万7千円を予算計上いたしました。その後、年度当初における受給者数が449世帯、546人まで減少したことを踏まえ、補正予算第

4号において4164万9千円の減額補正を行いました。また、その後受給者数は10月末で425世帯、500人まで減少し続けていることから、今年度の現予算の不用額を見込み、1億2270万2千円の減額補正予算を上げしました。受給世帯は平成28年度の10月の時点で、世帯数496世帯、人数が641人、平成29年度、491世帯、619人、平成30年度、456世帯、566人です。



### 質疑

ふるさと納税寄付金、これが500万円の減額となった理由と現在の実績を伺います。また、広報広聴費委託料、ふるさと納税事業業務委託料273万1千円の減額

理由、返礼品の内訳について伺います。

### 答 弁

500万円減額の理由については、1000万円の寄付金を見込んでおりましたが現在の実績などから下回るものと判断し、減額をお願いするものです。

次に、令和元年12月6日現在の実績ですが、件数については123件、金額は302万1千円です。

業務委託の減額は、ふるさと納税寄付額に応じて委託料が変動しますことから、委託先業者に支払う委託料も減額となるものです。

委託内容としては、1点目はポータルサイトのシステム管理運用、2点目は寄付者に対する書類の発行やコールセンター業務、3点目は事業者を含めた返礼品管理、4点目は配送管理、5点目はプロモーションとなっております。

委託先業者には管理運営に関する経費として、寄付金額の16%と返礼品代、配送料の実費をまとめて委託料として支払っております。

返礼品の内訳については、12月6日現在で9事業者、49品が幸手市の返礼品となっております。カモ肉が6品、和菓子3品、パンケ

キ克蘭ペットミックス粉が1品、ウナギが10品、ケーキなどの洋菓子が6品、個人農家のお米が10品、JAのお米が3品、郵便局の見守りサービスが9品、さくらマラソン出走券が1品となっております。



### 幸手市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を可決 (議案第70号)

### 賛成討論

武藤 壽男

議案第70号幸手市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例に賛成の討論を致します。地方公務員法の改正は、公務の適性のため、地方公務員の臨時・

非常勤職員について、特別職任用及び臨時的任用の適性を確保し、一般職の会計年度任用職員の任用等の制度の明確化を図り、臨時的任用職員の厳格化と特別職の任用が厳格化されたものです。

それにより、議案第70号の幸手市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例改正となり、会計年度任用職員に移行するものと区長、農家組合長等いくつかが特別職から削除されたものです。

殊に、市と地域住民とのパイプ役である区長については、地域に対する豊富な知識と経験を有し、助言調査なども行い、新地方公務員法においても、特別職にならないうこともないと考えますが、特別職から削除されたものの、新しい区長の地位、身分、職務、災害補償等の制度的位置付けが明確に定まらないまま、残念ながら上程されました。

今後、信頼され、更なる福利の増進が図られる区長制度の構築を強くお願いいたします。



### 選挙管理委員会委員

が決まりました

「選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について」

#### 【選挙管理委員会委員】

神谷 茂氏  
根岸 英範氏  
嶋田 利夫氏  
石塚 一昭氏

#### 【補充員】(補充順位順)

清水 千香氏  
川端 博氏  
森田 栄次氏  
田中 憲一氏

地方自治法182条第1項及び第2項の規定により、選挙管理委員会委員4人、補充員4人の選挙を行いました。

### 人事案件

#### 固定資産評価審査委員会委員

駒橋 明彦氏

を選任することに同意しました。

# 総務常任委員会

## 幸手市森林環境譲与税基金条例 (議案第69号)

**問** 基金の用途についての内容は。

**答** 幸手市は森林がない都市部であるため、基金の用途は、公共建築物への木材利用や啓発等の取り組みが中心になる。



具体的にとの公共施設に使用するといふ予定はないが、平成29年に、市有施設の木造化・木質化等に関する方針が決定されており、公共施設の内装の木質化や、木製備品の購入、あるいは学校の木製の机、木製の椅子の整備に使っていくことを考えている。

**問** 森林環境税の幸手市における納税額は。

**答** 市民税・県民税を合わせて、幸手市民の負担額は約2600万円になる。

## 幸手市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (議案第70号)

**問** 区長職の取扱いについての内容は。

**答** 区長職は市の事務的補助のニユアンスが薄いこと、勤務時間が基本的に定まらないことから、有償ボランティアになる予定である。今回、条例改正について提案したが、これらに関する要綱等についても、施行日の令和2年4月1日までに改正する予定である。幸手市区長設置要綱については、なくなるものではなく、区長の身分を變更するということになるので、要綱に記されている設置の目的や、職務内容等が変わる予定はない。

**問** 幸手市が区長を有償ボランティアにした根拠は。

**答** 総務省行政局が出している事務処理マニュアルや、全国町村会の説明資料などを参考にしていますが、それらの中では改正された地方公務員法の条項に、区長は合致しないとなっており、有償ボランティアという位置づけでの運用を考えている。



## 令和元年度幸手市一般会計補正予算(第5号) (議案第75号)

**問** 臨時職員賃金の増額理由は。

**答** 年度当初32名の臨時職員で運用する予定でしたが、10月から36名の運用になった。

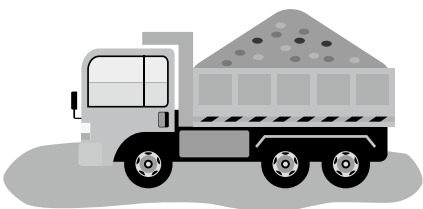
その増額分と、最低賃金が1時間当たり30円から40円程度の上昇

分を見込み、この差額の541万9千円を増額補正した。

**問** 可燃性残さ運搬処分事業で追加補正が発生した理由は。

**答** 粗大ごみ施設から発生した可燃性残渣、廃プラスチック類を桜泉園から中間処理施設まで運搬している業務で、中間処理施設で焼却処理後、発生する焼却灰をリサイクル施設に運搬している。

運搬費は、既に3年間契約しており、1トン1万円で変更はないが、処理費が、廃プラスチックの外国輸出もできなくなってきた関係で、現在の金額では処分ができず、処分費を1トン3万8千円から5万円に変更したため、補正した。





## 文教厚生常任委員会

### 指定管理者の指定について (議案第74号)

**問** 現在契約している指定管理者とこれから契約する指定管理者は、どこが違うのか。

**答** 現在の指定管理者「SATTE HAPPINESS TRCGROUP(幸手ハピネスティールシーグループ)」は、代表企業として株式会社図書館流通センターと構成企業であるTRC(ティールシー)ファシリテイーズ株式会社の2社でのグループである、今後の契約では、株式会社図書館流通センターが1社で構成する指定管理者となる。

**問** 株式会社図書館流通センター1社での指定管理で今後図書館の運営に変化があるのか。

**答** 原則的に変化はない。  
**問** 図書館が指定管理になってからとなる前の変化について。

**答** 指定管理になる前の平成26年度と平成30年度を比較して、開館日数で26年度は288日であったが30年度は306日になった。貸し出し冊数で20万4039冊であったものが本館と香日向分館を併せ27万6469冊になった。貸し出し人数では、4万8163人であったが8万5182人になった。

### 令和元年度幸手市一般会計 補正予算(第5号) (議案第75号)

**問** 可燃性残さ運搬処分業務委託料増額の内容について。

**答** 可燃性残さ物の内容は、粗大ごみ処理施設で破碎した後に出る石油製品類の破碎処理物です。また、破碎しにくく未処理のまま出されているものもある。日本の廃プラスチックの輸出に対し、中国の輸入制限がなされたことや東南アジア各国も同様に規制が設けられたことを背景に、国内の廃棄物の処理業者が処理量をかかえ、処理単価が上がり、委託会社について

てもその影響を受ける中、処理単価の見直しの依頼があり、他の自治体の状況も調べた上で、検討し補正予算を計上した。

### 令和元年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) (議案第76号)

**問** 一般被保険者第三者納付金増額の内容について。

**答** 当初予算額は500万円であるが、今回、非常に大きな事故に遭われた方がおり、補正予算を計上した。事故に遭われた方は、年齢は74歳以下の方で、徒歩か自転車の状態で、そこに相手方の自動車がおつかってきたような事例である。

### 令和元年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) (議案第77号)

**問** 後期高齢者医療広域連合納付金の増額の内容について。

**答** 当初見込んでいたよりも軽減を受ける方が増えているため、増

額させた。人数は、保険料7割軽減の方が、137人のプラス、5割軽減の方が45人のプラス、2割軽減の方が26人のプラス、5割軽減被扶養者の区分で11人のプラスで、合計で219人のプラスとなったため、補正予算を計上した。

### 令和元年度幸手市介護保険特別会計補正予算 (第2号) (議案第78号)

**問** 介護予防・生活支援サービス事業費の負担金及び会費、第1号事業支給費の増額内容について。

**答** 要支援1および2、そして、事業認定者に対するサービス費で、当初、通所サービスにつきましては、月146人の利用者を見込んでいたが、9月の時点で、193人が利用しており、今後の伸びが予想されるため補正予算を計上した。



## 建設経済常任委員会

### 幸手市水道事業給水条例の一部を改正する条例 (議案第73号)

**問** 指定給水装置工事事業者の指定更新に係る手数料の改正とのことだが、今後の手数料収入の見込みは。

**答** 南3丁目地内の改良工事等で、当初、擁壁工と側溝を行う予定だったが地権者との調整で擁壁工がなくても工事が実施できることとなり、擁壁工分を減額するもの。

**問** 予算を減額するのではなく、ほかの工事要望に充当することはできなかつたのか。

**答** 当初予算では市道521号線のみ予算配分(査定)となっていたが地権者と調整により工事が減ったことで減額とした。

**問** 橋りよう新設改良費、支障物件移設補償費の増額内容は。

**答** 古川橋架替工事の取りつけ道路の工事において、現地立ち会いの結果、支障物として東電柱1本、NTT柱3本の移設増加となった。

### 令和元年度幸手市一般会計補正予算(第5号) (議案第75号)

**問** 土木費、道路新設改良費の市道521号線工事費の減額理由は。

**答** 工事の発注段階で当該年度での工事の立ち合いを行うことから当初予算の見込みと差が生じた。

**問** 当初予算を編成する段階で分からなかつたのか。

**答** 地権者と仮換地協議が整い、新たな移転先が確定。その契約に先立ち仮換地先の試掘をしたところ、コンクリートの破片(ガラ)が認められ、地権者に渡す前に撤



**問** 土地区画整理費のうち埋設物撤去処分等工事1980万7千円の増額理由は。

### 令和元年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) (議案第79号)



堤防からの取付道路工事

去する工事である。施工面積約300平方メートルに対して、約3メートルを掘削する見込み。なお、約900立方メートルの掘削で発生する混入物の容量については今後、調査を行う。近隣への影響を調べる地盤変動影響調査は補正予算可決後に実施。取り出した埋設物は一旦地区内に仮置きし、最終的にはいずれは処分する方向で考えている。

**問** その土地の元の地目は何か。

**答** 当初は田んぼで、昭和40年代後半から昭和50年代にかけて埋め立てがなされ、陸田として使われていたと確認している。

**問** 元の持ち主の瑕疵担保責任は。

**答** 国・県にも確認したが、当時の法令等に照らし元持ち主の瑕疵担保責任は認められないことから、施工者である市が処分する。

お詫びと訂正：市議会だより第92号、7ページに誤りがありました。ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。  
【誤】平成30年度幸手市一般会計歳入歳出予算(議案第40号)  
【正】平成30年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定(議案第40号)

# 市政に対する

# 一般質問

今定例会では、13人の議員が12月2日、3日、4日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

**一般質問**とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

## 四本奈緒美議員

- 台風19号を教訓にした防災対策について
- AYA 世代女性のがん検診の受診率向上について
- AYA (Adolescent and Young Adult 若年成人)
- 子ども子育て支援の充実について
- 東京2020オリンピック・パラリンピックについて

## 本田謡子議員

- 選挙管理委員会の現状について
- 台風19号における市の防災の現状と、これからの対応について
- 防災について

## 松田雅代議員

- 市長公約について
- 台風19号対応の反省と課題について
- 令和元年度幸手市敬老会の開催状況について

## 小河原浩和議員

- 市長の選挙公約について
- 市長が求める特別職、職員の人間像について

## 小林啓子議員

- 「2040年問題」に向けての幸手市の対応について
- 「8050問題」の支援について
- 新生児聴覚スクリーニング検査について

## 青木章議員

- 街づくりの対応について
- 惣新田・幸手線バイパスの早期完成について
- 幸手消防西分署の存続について

## 武藤壽男議員

- 台風19号に対する市の危機管理体制の対応について
- 職員の懲戒処分について
- 選挙管理委員会の対応について

## 坂本達夫議員

- 本庁舎建て替え方針について
- デマンド交通について
- 洪水対策
- 幸手市役所入口交差点の右折禁止解除
- 幸手駅西口の活性化
- 防災対策

## 枝久保喜八郎議員

- デマンドバスの見直しについて
- 防災対策の構築について
- 区長の選挙活動について

## 小林英雄議員

- 交通形態について
- 防災対策について
- 学校評価に関するアンケートについて
- 行政改革について

## 大平泰二議員

- 権現堂川小学校近辺及び神扇地区のごみ問題の進捗状況について
- 公共交通利便性の向上について
- 職員の処分問題について
- 治水と外水対策について
- 下水道使用料激減について
- 区長の職責について

## 藤沼貢議員

- 令和2年度幸手市一般会計当初予算編成について

## 木村治夫議員

- 市長公約の幸手市政すべての事業を総点検することについて市長に伺う
- 市長選挙における選挙運動について選管に伺う
- 台風19号における市の防災体制、危機管理体制を市長に伺う
- 学校教育内容の充実について教育長に伺う

## 12月定例会

傍聴者	64人の方が傍聴されました。		
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。			
10月	401件	11月	416件
12月	3260件	の方が視聴されました。	

3月定例会  
のお知らせ

2月21日開会予定です。  
詳しくはホームページをご覧ください。  
<https://www.city.satte.lg.jp/>

11月29日(本会議)	・開会・会期の決定・報告事項 ・市長提出議案一括上程、 提案理由説明
12月2日・3日・4日(本会議)	・市政に対する一般質問
12月10日(本会議)	・議案に対する質疑
12月11日(委員会)	・議案の委員会付託
12月12日(委員会)	・総務常任委員会
12月13日(委員会)	・文教厚生常任委員会
12月19日(本会議)	・建設経済常任委員会
・閉会	・委員長報告質疑討論、採決

12月定例会  
会期日程

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 12月定例会の会議録は3月上旬頃公開予定です。



台風19号を教訓にした防災対策を！



四本奈緒美議員

**Q** 台風19号での避難場所には、乳児も避難して来られた。市の備蓄品として、乳児用液体ミルクを強く要望するが、市の考えを伺う。

また、市民から幸手駅への公衆電話設置の要望の声がある。災害時の通信手段としても必要であると考えるが、設置の実現について伺う。

**A** 液体ミルクは、保存期限が短く、防災倉庫などの気温変化が大きな場所での保存状態についての情報も少ないことから、今後、新たな商品が開発される中で、より良いものを安定して備蓄するという視点から、導入について検討していきたい。

また、災害などの緊急時において、通信規制の対象外となり、優先的に取り扱われる公衆電話の駅への設置は必要であると考

えており、設置場所の情報提供をするなど、NTT東日本に協力していきたい。(市民生活部長)



災害時だからこそ、情報は大切



本田謡子議員

**Q** 「情報」として大切な防災行政無線・市のホームページやSNS等・広報車の3点について、台風19号における市の現状とこれからの対応を伺う。

「情報」として大切な防災行政無線・市のホームページやSNS等・広報車の3点について、台風19号における市の現状とこれからの対応を伺う。

**A** 防災行政無線では、市民への災害の注意喚起や避難勧告発令等のための放送を行っており、今後も災害準備や避難行動に必要な情報発信を行っていく。

市のホームページやSNS等では、日頃の情報や緊急情報、防災行政無線で伝えきれない情報の発信を行っており、今後も更なる充実を図っていく。

広報車では、防災行政無線の放送と併せ、市内巡回により迅速に情報を知らせられるよう対応していく。(市民生活部長)

速に情報を知らせられるよう対応していく。(市民生活部長)



## 市長公約「未来志向のまちづくり」の構想は



松田雅代議員

**Q** 市長就任から二ヶ月。改めて木村市長の現状認識、公約「未来志向のまちづくり」の実現に向けた考え、構想を伺う。

①県内トップレベルまでの学力の引き上げについて②市民から信頼される人材育成③市内の移動手段確保について④地元中小企業・商店街・農業の活性化

について⑤幸手西分署存続について⑥幸手市の財政の現状について。

財政を始め、大小・短中長期の課題が山積する中、公約実現の工程を明らかにし、鋭意取り組まれることを期待している。

**A** 市民の皆様は幸手市の将来へ希望を持っていただけよう、市政を総点検し、未来志向のまちづくりを推進していく。その中で、事業費の確

保に努めながら、基礎教育の推進による子どもたちの学力向上、職員の意識改革、より良い公共交通の実現、地元農工商業者との連携等に取り組むとともに、幸手西分署の存続を訴えてまいりたい。

今後、中長期的な視点に立ち、持続可能な市政運営を行いながら、公約実現に向けた道筋を示していきたい。

(市長)

## 市長の選挙公約について



小河原浩和議員

**Q** 市長は「市政一新」を掲げ、随所に「刷新」「見直し」「抜本的な改革」とあるが、その言葉の通り市政運営、今後の予算編成に反映されている、具体策を事例別に伺う。

**A** 幸手市が直面する人口流出と財政基盤の弱さを最重要課題ととらえ、その克服に向け、市政一新を図るため、各課のヒアリング、また、予算編成を通じ、市の事業の総点検を行い、市政運営に活かしていく。事業については、教育や子育て、医療・介護・福祉、公共施設の再編や長寿命化、災害対応など、各業務内容を精査し、必要性、有効性、費用対効果等を検証しながら、見直しや刷新、

継続や廃止を含め検討し、未来志向のまちづくりに繋げていく。

(市長)



「2040年問題」に向けて幸手市の対応は



小林啓子議員

**Q** 幸手市の現在の高齢化率と2040年の高齢化を伺う。

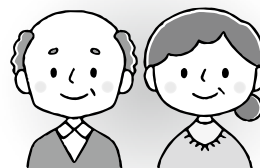
幸手市においては、今後2040年に向けてどの様な対応が必要となるのかを市長に伺う。幸手市において、2040年問題に対応するためのあらゆる分野の有識者を招いて、庁内プロジェクトチームを立ち上げて

いくことが必要であると考え、市長に伺う。

**A** 高齢化率は、現在33・8%、2040年には40

・4%になると推定しており、様々な問題が起きることが予想される。これらに対応するため、健康・スポーツ・文化活動をさらに推進するとともに地域包括ケアシステムの深化、充実を図っていききたいと考えている。また、外部から有識者を招いて意

見を聞くことも有効なことと認識しており、プロジェクトチームの設置も検討しながら、2040年問題に危機感をもってあたっていく。  
(市長)



幸手消防署西分署の存続について



青木 章議員

**Q** 埼玉東部消防組合は、平成30年7月25日に「消防署所の合理化についての今後の方針」を正副管理者にて合意

その中で幸手西分署廃止が検討されています。高齢化が進む中で、西地区住民にとっては西分署存続は死活問題です。また、正副管理者の中で、令和2年度中に成案として組合議会に提案

するとしています。副管理者である市長は、西分署存続を公約のひとつとしています。そこで、幸手消防署西分署存続に向けた市長の対応とその可能性について伺います。

**A** 幸手消防署西分署の廃止については、私の公約

にも存続するべきものと掲げており、地域住民も反対しているところ。また、西分署の配置地域は、

JRと東武鉄道に挟まれた地域であり、地勢や道路状況からも存続していただきたいと考えています。

そして、署を減らすことだけではなく、他の方策を検討していただく等、存続についてお願いしていきたいと考えています。  
(市長)



## 台風19号の危機管理体制の対応は



武藤寿男議員

**Q** 台風19号が来襲し特別警報が発令され、警戒レベル5の災害対応が求められる事態となった。

自分の命は自分で守ることが基本であるが、市民の生命と財産を守るのが市の責務である。利根川、江戸川が増水し、栗橋に於いて氾濫危険水位を10時間近く超過して、発令が遅かつ

たものの、災害対策本部の設置後、避難勧告が発せられ緊張事態となった。

今回の危機管理はどうであったか、今後の危機管理体制はどうなすべきか伺う。

**A** 今回の災害対応を通して、市の災害に対する危機管理が地震や内水被害を中心としてきたことによる準備不足があったと考えている。今回の件を踏まえ、広域被害に繋がる

利根川をはじめとする国管理河川の洪水などの外水被害について、改めて、事前の準備や関係各署との連携、市民への的確な情報提供等、命を守るための取り組みについて、対策を検討していく。  
(市民生活部長)



## 本庁舎建て替え方針と危機意識



坂本達夫議員

**Q** 幸手市は平成31年2月に行われた庁議において本庁舎は建て替える方針であると決定した。理由は、①耐震基準を満たしていない。②災害が発生した場合、災害対策本部になる等。

幸手市には本庁舎を立て替える資金はない。建て替え方針を再考すべきである。そして、耐

震上問題のある本庁舎は直ちに使用せず、庁舎の機能を第2庁舎、ウェルス幸手等へ移転することを検討すべきである。また、問題のある庁舎に市民や職員を置き、市として危機意識を感じているか伺う。

**A** 市としては、本庁舎について、幸手市庁舎に関する庁内検討委員会検討結果、日本工業大学建築学部先生の意見書等を踏まえ、部長会議、政

策会議、庁議において審議した結果に従い、建て替えの方向で事業を進めてまいりたいと考えている。

市民や職員がいるという危機意識を持ち、建て替えの方向の中で、建て替える場所や規模等を含めて、今後、市民や議員の皆様のご意見を伺いながら、慎重に合意形成を図り、事業を進めてまいりたいと考えている。  
(総務部長)

区長の選挙運動にケジメを



枝久保喜八郎議員

**Q**

区長は地域の代表で、公選法第百三十六条の二では地位を利用した選挙運動が禁止されている。このため、区長による誤解を招く行為は好ましくない。先の市長選では一部代表区長をはじめ区長の選挙活動が堂々に行われた。選挙直前に辞職し、直後に復帰する偽装辞職の事実もあった。良識ある

**A**

特別職の地方公務員である区長は、職務権限を利用して選挙運動を禁止されている。よって、特定候補者の推薦、紹介等の応援行動に関与し過ぎると公職選挙法に接触して

いると受け取られる可能性がある。ただし、一個人としての選挙運動までを禁止されているものではない。有権者に誤解を招かない明るく公正中立な選挙運動が行われるよう関係機関と連携し、啓発、周知に努めていきたいと考える。

(選挙管理委員会書記長)

権現堂公園周辺への臨時駅設置



小林英雄議員

**Q**

桜まつり期間中、年々激化する渋滞の緩和を図る為、また、電車による来場者の利便性を考慮し、更なる観光客増加を目指す為に、臨時駅が必要である。

臨時駅に於いては、厳しい財政状況を踏まえ、敷地買収不要な場所を選定、案内看板変更等に時期を合わせる等、経費節減

**A**

先の市長選挙の公約として挙げた四季駅は、臨時駅と同義である。駅の設置については、相応の財政的負担を要するものであり、加えて、幸手駅から権現堂桜堤までの人の流れを街中に呼び込むための「回遊性」を高め、中心市街地を活

性化するための仕組みづくりにも引き続き努めていく必要がある。また、桜まつりの際には、かなりの交通渋滞が発生しており、その解消は重要かつ喫緊の課題である。よって、臨時駅の設置については、財政的な視点や他の事業とのバランス等を考慮し、将来的な構想案のひとつとして慎重に検討していくものである。

(市長)

ゴミ問題解決の進捗状況



大平泰二議員

**Q**

権現堂川小学校近辺のゴミ問題で県との協議および関係者に対する指導内容と撤去期間は設けているか伺う。また、神扇ゴミ屋敷問題については9月議会以降の搬出量の進捗状況について伺う。

**A**

権現堂川小学校近辺のゴミ問題については、行

為者から県へ本年10月を期限とした撤去計画が提出された。県には計画どおりの撤去及び廃棄物の飛散対策について指導を要請したが、解決に至っていない。このため、引き続き県と連携し、行為者へ速やかな撤去を要請していく。

土地所有者には、問題解決にむけて弁護士相談を案内した。神扇地区のゴミ屋敷については、9月議会以降3回撤去作業を実施し、不燃ごみ1,680

kg、可燃ごみ69袋を搬出した。

(市民生活部長)



令和2年度当初予算編成について



藤沼 貢議員

**Q**

予算編成にあたりどのような指示を出されたのか、またどのような事業展開を考へておられるのか市長に伺う。

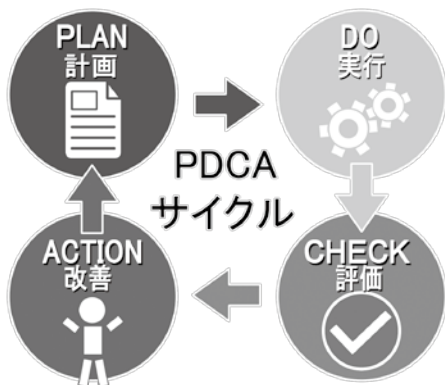
**A**

全ての市事業を総点検する視点でPDCAサイクルを実施し、無理・無駄を省き、予算編成をするよう支持しました。

また、社会保障関連経費など市民生活に直結する事業に要するとともに、既に、目的を達成した事業や効果・ニーズの低くなった事業は縮小・廃止を検討して、スクラップ・アンド・ビルドを徹底し、限りある財産の有効活用に努めます。

なお、具体的な施策は今後の予算編成で検討します。

(市長)





## 第4回 議会報告会を実施しました

令和元年11月17日(日)に幸手市役所第二庁舎において、昨年に続き第4回議会報告会を開催し、22人の方にご参加いただきました。

9月定例会で審議した平成30年度の決算などを、総務・文教厚生・建設経済常任委員会の各委員長が報告しました。

また、4つのグループに分かれての広聴会を実施し、様々なご質問や貴重なご意見をいただきました。

### アンケート結果 (一部抜粋)

- 回答数 19人
- 年齢 30～40代…2人 50～60代…5人  
70代以上…12人
- 議会報告会の開催について  
評価する…11人 どちらともいえない…6人  
無回答…2人
- 説明の内容について  
わかりやすかった…5人 どちらとも言えない…9人  
無回答…5人
- 参加された理由
  - ・市議会の情報を知りたいため。
  - ・議会の皆様の意見を直接伺いたいため。
  - ・一度聞いてみたいと思ったので。
  - ・市政の勉強のため。
- 議会報告会(議会報告・広聴会)に対するご意見をお聞かせください
  - ・各常任委員長からの説明と配布資料の整理をして頂けると有難い。
  - ・市民の関心が高まるような報告会となる工夫をしてもらいたい。
  - ・とても良い会だと思いました。数多く開催してたくさんの市民から意見を聞けるようにしていきたいと思います。



## 市の防災体制、危機管理体制を市長に問う



木村治夫議員

**Q** 台風19号通過に伴う水害報告書を基に、経過として10月12日(土)23時10分、利根川水位13日午前2時8.1メートル、午前5時8.9メートル予想情報が市に入っていたが市長に伺う、(1)市民の生命、財産を守ることに、行政の責務と考える。(2)緊急対応体制の整備、市民に正しい情報発信する組織構築が必要。

**A** (3)地域防災力の強化が必要である。(4)消防団・自主防災組織整備等、防災活動を強化すべき。(5)民間施設、企業との災害応援協力協定を市内全域に構築すべき。以上について、見解を市長に伺う。

防災に対する市の責務は、ご指摘のとおり市民の生命、身体及び財産を守ることを考えている。今後、地域防災計画の防災対策を推進し、

緊急時の準備体制を含めた万全な対応体制を構築し、市民への迅速的確な情報発信を行う。

また、地域防災力向上のため自主防災組織の新規立ち上げ、充実・強化を支援し、住民・消防団・自主防災組織の協力体制を推進する。

民間施設等を一時的な避難場所とする必要性を検討する。(市長)

# 令和元年12月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)  
(市長提出議案)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果	
		1 四本奈緒美(公)	2 坂本達夫(無)	3 海老沼隆夫(共)	4 小林英雄(政)	5 枝久保善八郎(無)	6 宮杉勝男(政)	7 本田諤子(政)	8 小河原浩和(緑)	9 小林啓子(公)	10 松田雅代(幸)	11 木村治夫(自)	12 藤沼貢(自)	13 青木章(緑)	14 武藤壽男(幸)	15 大平泰二(共)			
議案第69号	幸手市森林環境譲与税基金条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第70号	幸手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第71号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第72号	幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第73号	幸手市水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第74号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第75号	令和元年度幸手市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第76号	令和元年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第77号	令和元年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第78号	令和元年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第79号	令和元年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第80号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第81号	幸手市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第82号	幸手市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	賛成多数可決
議案第83号	幸手市市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第84号	幸手市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第85号	幸手市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第86号	令和元年度幸手市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第87号	令和元年度幸手市水道事業会計補正予算(2号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第88号	令和元年度幸手市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決

**議会広報編集委員**  
 委員長 宮杉勝男  
 副委員長 小林啓子  
 委員 四本奈緒美  
 委員 坂本達夫  
 委員 本田諤子  
 委員 小河原浩和  
 委員 松田雅代  
 委員 木村治夫  
 委員 大平泰二

**編集後記** 今年の干支はねずみ。漢字で書くと「子」ですね。完了の了に、始まりの一が重なり、過ぎたるものが終わり、新たなる次の始まり。まさに変革の年です。  
 幸手市議会でも、議会改革をさらに推し進め、市民に開かれ市民とともに歩む議会、市民のための市政を目指し、議員一丸となって、市民福祉の向上および幸手市発展のため邁進してまいります。